

	チェック項目	はい		どちらとも いえない		いいえ		改善目標 工夫している点など
		数	比率%	数	比率%	数	比率%	
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	83.33	1	16.67	0	0	法令で必要な広さは確保している。部屋の使い方によっては狭いと感じるときもある。
	2 職員の配置数は適切であるか	6	100	0	0	0	0	・多めに職員を配置を行っている。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	33.33	2	33.33	2	33.33	入り口はフラットであるが2階への移動は車いすでは不可能。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	100	0	0	0	0	朝晩のミーティング、を毎日行い、毎月事業所内支援会議も行っている。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	100	0	0	0	0	2019年2月から自己評価をスタートし毎年更新している。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	100	0	0	0	0	2019年2月末にホームページに掲載その後毎年更新している。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	50	2	33.33	1	16.67	今現在は、第三者評価による外部評価は行っていない。事業所評価を雲長舎内の別の事業所が行っている。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	100	0	0	0	0	3事業所と合同で施設内研修を児発管および保育主任が担当で月一回行い、年4回外部講師を招いての研修も行っている。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	100	0	0	0	0	毎朝晩のミーティングの中で子どもたち一人ひとりの様子の話し合いをもちながら情報を収集し、アセスメントを行いその後施設内支援会議を行い、分析し計画を作成している。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	100	0	0	0	0	子どもたちの発達状況に応じて、主に3つの統一したアセスメントツールをその子の発達段階や特性に応じて使い分けている。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	100	0	0	0	0	朝のミーティング後、定期的に日にちを決め、施設内支援会議を行い、立案を行っている。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	100	0	0	0	0	朝のミーティングの際に前日のプログラムを見直し立案している。土曜日の余暇活動については月曜日、休日などについては早めに立案し協議している。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	100	0	0	0	0	個別療育、小集団での療育などについて話し合い、きめ細かく立案している。休日は担当を決めて立案し協議している。
14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	100	0	0	0	0	朝のミーティングの際の話し合い個別療育、小集団での療育が効果良く組み合わせられるように立案し実施している。	

	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	100	0	0	0	0	必ず朝のミーティングを行い、本日利用する子どもたち、支援内容の確認、午後出勤の職員には出勤時に伝え共通理解をしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	100	0	0	0	0	送迎終了後本日の療育について話し合い振り返りや反省、気づきなどを行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	100	0	0	0	0	メモや簡単な記録を残し、翌日ケース記録や療育日誌に記載し、児童発達管理責任者が確認している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	100	0	0	0	0	原則として6ヶ月に一度モニタリング（新規は3か月）を行っているが、目標の達成度、子どもたちの状況により早く行うこともある。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	6	100	0	0	0	0	ガイドラインにある、自立支援、日常活動、創作活動、余暇活動などの基本活動を、いぶきの療育プログラムに組み入れ立案し療育をおこなっている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	100	0	0	0	0	モニタリングおよび受給者証更新の際に、ほとんどの相談支援事業所の相談員と会議を開き話し合いの時をもっている。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	100	0	0	0	0	下校時間の変更、行事予定の変更など連絡をいただき、連絡調整を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	0	2	33.33	4	66.67	医療的ケアが必要な児童は現在在籍無し。在籍するようになった場合連絡体制を整える予定。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	83.33	1	16.67	0	0	0	訪問時に、打ち合わせを行い情報共有に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	83.33	1	16.67	0	0	0	昨年度2名、就労支援事業所及び生活介護支援の各施設と情報共有をした。今年度は不在。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	66.67	2	33.33	0	0	0	訪問を受け、話し合いや情報の共有などを行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	3	50	3	50	0	屋内遊び場などを利用し交流したり等の取り組みをしている。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	6	100	0	0	0	0	0	3事業所で1名が代表としてが定期的自立支援協議会の会合に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	100	0	0	0	0	0	連絡帳、療育の記録を用いたり、送迎の際療育について話をし、共通理解を図っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	66.67	2	33.33	0	0	0	面談や相談に来られた際、必要であれば保護者個人に対して療育プログラムや支援の仕方などの紹介を行っている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	100	0	0	0	0	0	入会時及びモニタリング等の面談の際に、説明をしている。

保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	100	0	0	0	0	0	随時、困り感や悩み事などを受け付けられる体制をとっている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	66.67	0	0	2	33.33	芋煮会で職員と交わる時間や、保護者同士の交流の時間など設けている。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	100	0	0	0	0	速やかに対応できるように、連絡体制などを構築している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	100	0	0	0	0	奇数月にいぶき通信を3事業所合同で発行している。その中で行事や療育について、情報などを定期的に発信している	
	35	個人情報に十分注意しているか	6	100	0	0	0	0	職員の採用時個人情報の取組みに関する契約書を取り交わしている。書類等の取扱は厳重注意して行い、施設内の情報を他では話さないように徹底し不要になった文書はシュレッターで粉砕している。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	100	0	0	0	0	相手に理解できる様に考慮し、児童の場合はその子の特性に応じて、保護者の方に分かりやすく伝え、意思疎通や情報伝達が適切に行えるように配慮し支援にあたっている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	16.67	3	50	2	33.33	次年度の検討事項として話し合っている。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	100	0	0	0	0	職員間では定期的に読み合わせの時間を設けている。保護者の方々には今年から、入会の手続き時、モニタリングなどの担当者支援会議の際に確認していただいている。 ・入り口にファイルを設置いつでも閲覧できるようにした。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	100	0	0	0	0	年3回行ってきている。昨年から水害の被害を想定して訓練も行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	100	0	0	0	0	基幹センターを用い年1回定期的に行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	33.33	3	50	1	16.67	身体拘束が必要な児童は、在籍していない。必要な児童が在籍した際は検討し立案する。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	66.67	2	33.33	0	0	食物アレルギーについては事前にアセスメントの質問の中で行い、フェースシートに記入していただいている。今現在アレルギーで医療的ケアの必要な児童は在籍していない。在籍する場合は指示書の提出および保護者との話し合いを行う。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	100	0	0	0	0	作成し、対策会議を行い事例集を作成している。追加があったときは必ず内容を報告し共有している。		